

**ICボルドー** は慣行ボルドー液を使いやすくした製剤です!

# ICボルドー 480

- 1.取扱簡単、水で薄めるだけで即OK。
- 2.高品質微粒子設計でムダなく、ムラなく、目詰りなし。
- 3.付着力抜群、薬効の持続性が長い。

## 散布例

**ぶどう (べと病) 25~50倍**

袋かけ直前 → 傘かけ又は袋かけ直後 → 7月中旬 → 除袋前 → 収穫直後

**なし (黒星病) 30倍**

秋の収穫後 → 落葉 → 春発芽 → りん片脱落直前 → 開花

**こんにゃく (葉枯病) 25~50倍**

7月 → 8月 → 9月 → 10月 収穫期

ヒョウが降ったら即散布する

台風直後は即散布する

地域により又、気象条件等により散布時期は相違しますので、詳細は最寄のJA等関係指導機関にお尋ね下さい。

## ■ ICゴルド-の希釈方法

ICゴルド-は粘度のある懸濁液ですので、まず箱からフィルム袋を取り出し、繰り返しよくもみほぐしてください。

①保護眼鏡、ゴム手袋、防除衣、ゴム長靴を着用。



②凹凸のない平らな所でICゴルド-袋の中心部にこぶしを押し込むようにしてよくもみほぐす。



③水を八分目入れたSSにICゴルド-を入れる。



④固まりがこし網にある場合、残りの水量の水圧で流し込む。



③ポリバケツに倍量の水を入れて、ICゴルド-を加えてよくかき混ぜる。



④タンクに混合液を入れ、よくかきまぜる。



## ■適用病害虫の範囲及び使用方法(塩基性硫酸銅31.2%、普通物、B類)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病	25~50倍	200~700ℓ/10a	—	—	散布	—
なし	黒星病	30倍		収穫後~開花前			
こんにゃく	葉枯病	25~50倍	100~300ℓ/10a	—			

### 近接散布

農薬散布の前後関係による散布間隔を厳守して下さい。

ICゴルド- → 石灰硫黄合剤 2週間

ICゴルド- ← 石灰硫黄合剤 10日間

ICゴルド- ↔ マシン油乳剤 2週間

## ■効果、薬害など使用上の注意事項

- (1) 石灰硫黄合剤、有機リン剤、マシン油乳剤等を混用すると薬効を減じ、また薬害を起こす原因となるので混用しないこと。
- (2) 散布直後に降雨があると薬害が発生しやすいので注意すること。
- (3) 高温時の散布では、葉及び新梢にボルドー液特有の銅による薬害が発生する場合がありますので注意すること。
- (4) 核果類(もも、うめ、あんず)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
- (5) ぶどうの無袋栽培で使用する場合、果房に汚れが生じるおそれがあるので果実肥大期以降の散布はさけること。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### 安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (2) 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用すること。

### 水産動植物への注意

- (1) 水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切る。散布器具及び容器の洗浄は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

### 貯蔵上の注意事項

乾燥固結しないように密封して貯蔵すること。また凍結するとその物理的性状が劣化するので凍結には十分注意して保管すること。

- ラベルをよく読む。
- 登録作物以外には使用しない。
- 小児の手の届く所には置かない。

INOUE  
CALCIUM CORPORATION

水で溶かすだけで  
すぐ散布できる!  
安くて簡単  
効き目も強い!

今日から  
楽々!

ICゴルド-



井上石灰工業株式会社

〒783-0060 高知県南国市塩が丘2丁目3番地5 TEL.088-855-9965 FAX.088-880-8808  
http://www.inoue-calcium.co.jp